

松本秋則

オートノミー

サウンドスケイ

AKINORI MATSUMOTO

SOUND SCENES HAKONE

2015 3/21^{SAT.} - 8/30^{SUN.}

彫刻の森美術館
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

彫刻の森美術館では、「松本秋則 オトノフウケイ」展を開催します。

松本秋則は、竹を主な素材に用いて組み上げ、音の出るサウンド・オブジェを制作している作家です。空気の動きを捉えたりモーターを駆使して作品に動きを与え、竹同士がぶつかりこすれ合ったりして生まれる音の連鎖が、素朴で愉快的な音楽を奏でます。また、巨大なスクリーンを仕立ててオブジェを投影し、音と映像が織りなす優しく心地よい風景を創出します。

本展は、《Sound Forest》と《Sound Garden》、そして《Sound Theater》という3つのインスタレーションにより構成されます。

会場を巡り様々に変化する音と光が繰り広げる一期一会の世界をお楽しみください。

展 覧 会 概 要

- 【展覧会名】 松本秋則 オトノフウケイ
- 【会 期】 2015年3月21日(土・祝)～8月30日(日)
- 【会 場】 彫刻の森美術館 本館ギャラリー (〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121)
- 【開館時間】 9:00～17:00 (年中無休・入館は閉館の30分前まで)
- 【休 館 日】 なし(年中無休)
- 【入 館 料】 大人1,600円 / 大学・高校生1,200円 / 中学・小学生800円
- 【交通案内】 箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
- 【主 催】 彫刻の森美術館 (公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団)
- 【後 援】 フジサンケイグループ
- 【出品点数】 インスタレーション3点
- 【ワークショップ】 「誰でもミュージシャン」

場所 彫刻の森美術館 本館ギャラリー テラス

日時 5月3日(日)、5月4日(月・祝)、5月5日(火・祝) 12:00～14:00

8月14日(金)、8月15日(土)、8月16日(日) 11:00～13:00

講師 松本秋則氏

内容 回すだけでリズムカルな音を奏でたり、ひっくり返すと水音を鳴らしながら動き出す、今まで見たことも聴いたこともない不思議な楽器たち。
松本さんと一緒に不思議な楽器を演奏して、「ミュージシャン」になってみませんか。



撮影: 佐々木敏晴

作家略歴

1951年 埼玉県に生まれる

1982年 音の出る作品＜サウンド・オブジェ＞の制作を始める

1992年 五島記念文化財団の助成でアジア7ヶ国の少数民族の芸能を研究

神奈川県平塚市在住

＜主な個展＞

1995年 「サウンド of アジア」ストライプ・ハウスギャラリー（東京）

2001年 「SUNARI project in BALI」バリ島の水田（インドネシア）

2006年 「Bamboo Bank」BankART1929（横浜）



撮影：佐々木敏晴

＜主なグループ展＞

1987年 「第5回ヘンリー・ムーア大賞展／美ヶ原高原美術館賞」美ヶ原高原美術館（長野）

1988年 「動きの表現」埼玉県立近代美術館

1989年 「Japanese Ways, Western Means」クイーンズランド州立美術館（オーストラリア）

1990年 「あそびのこころ展」世田谷美術館（東京）

1991年 「記憶の風景展」すみだリバーサイドホール・ギャラリー（東京）

1998年 「第4回大分アジア彫刻展」朝倉文夫記念公園（大分）

1999年 「第9回アジア・アート・ビエンナーレ／グランプリ受賞」バンガラデシュ

2002年 「ワークショップ 展示」東京都現代美術館

2004年 「きょうの はやまに みみをすます」神奈川県立近代美術館・葉山館

2005年 「比治山アート・プロジェクト」広島市現代美術館

2008年 「木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展」練区立美術館（東京）

2009年 「水と土の芸術祭」松浜町（新潟）

2010年 「瀬戸内国際芸術祭」男木島（香川）

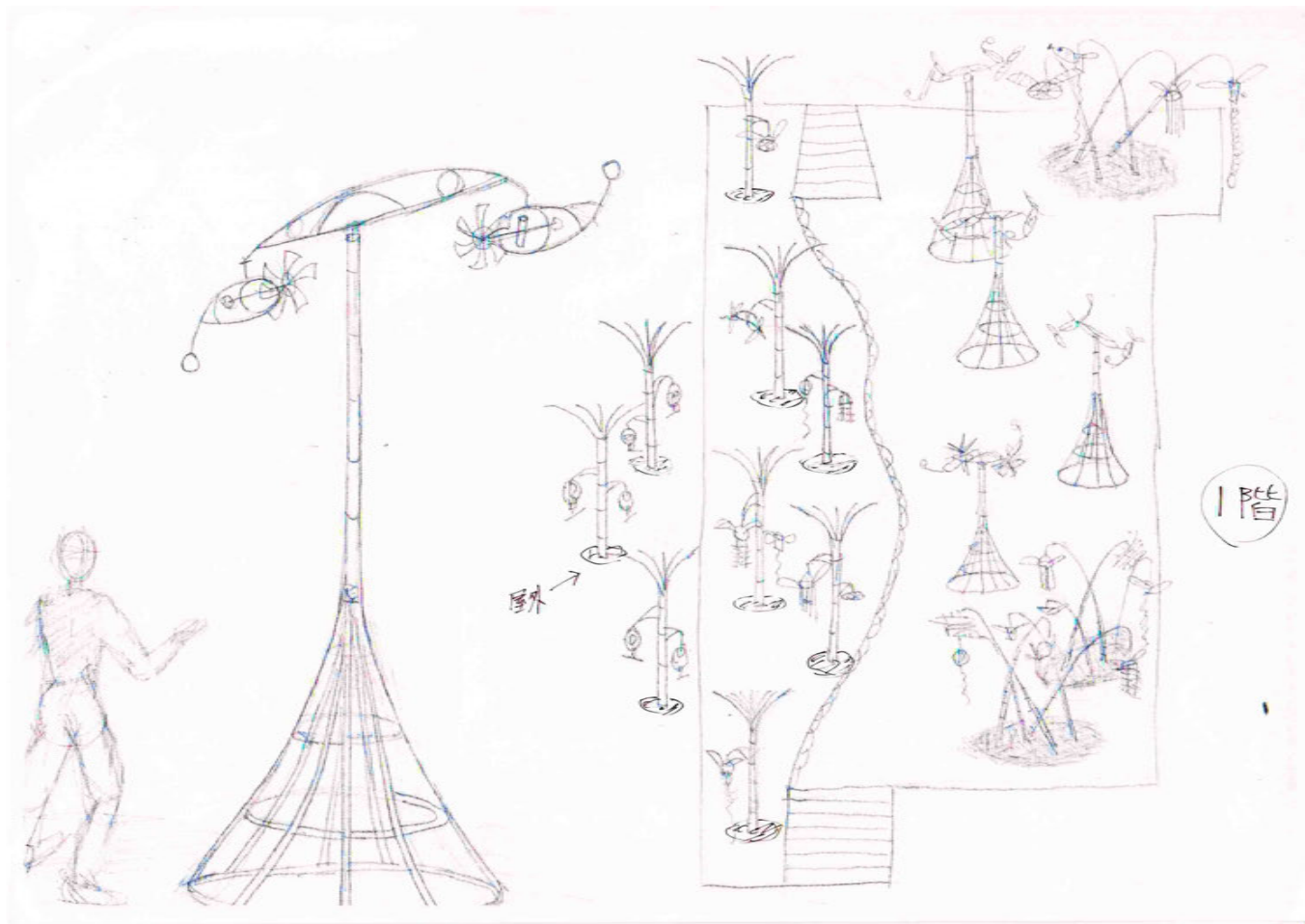
2012年 「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」井の頭恩賜公園（東京）

2013年 「OPEN STUDIO 2013《Sound Theater》」BankART Studio NYK（横浜）

2014年 「Bushwick Open Studios 2014」Bogart Studio, Bushwick（ニューヨーク）

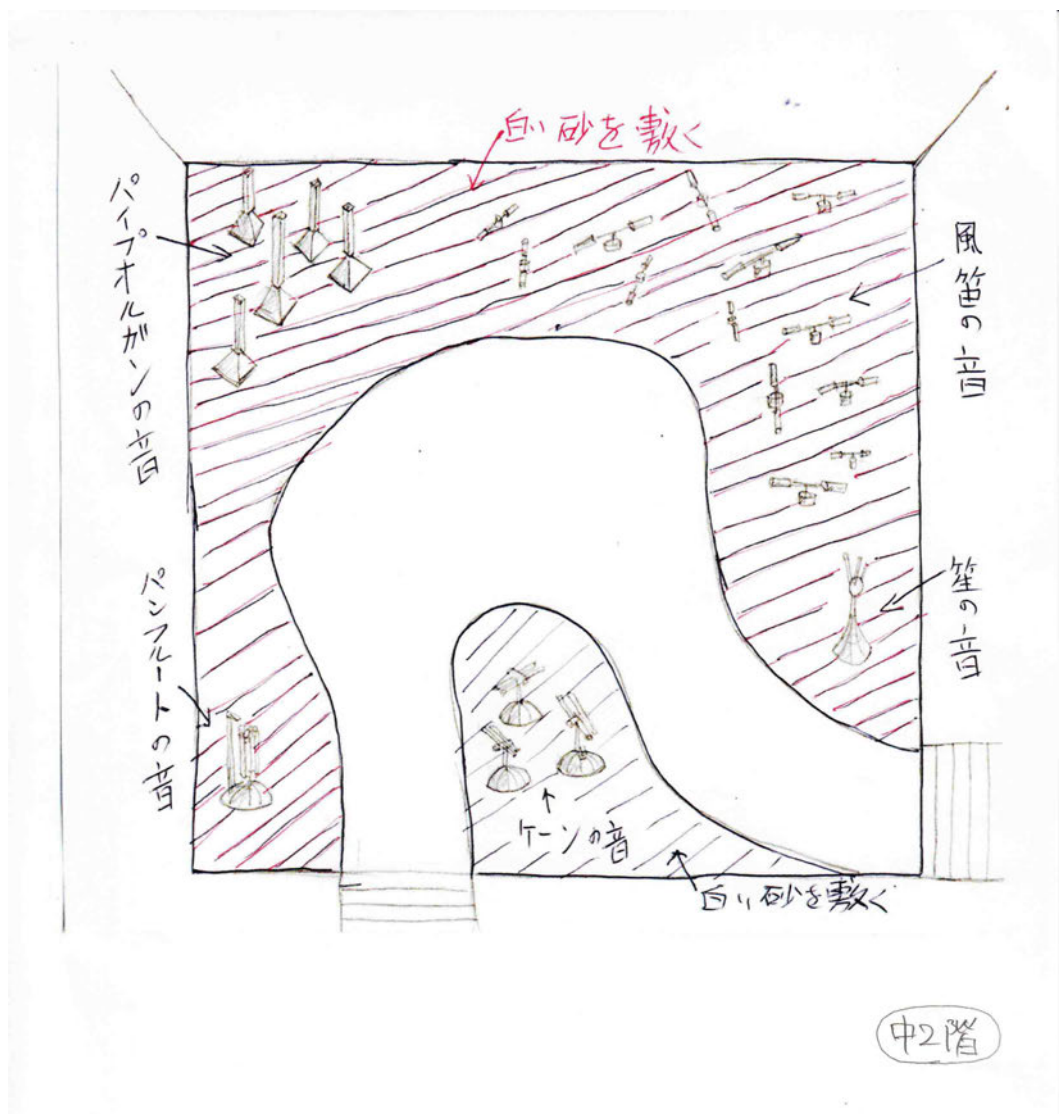
1 階フロア 《Sound Forest》

竹の音との出会いの場所。自動演奏する竹の打楽器のアコースティックなサウンドを立体的に楽しめる会場です。下から見上げる作品や見下ろす作品など、目線の位置が変わるサウンド・オブジェを15種類20個ほど設置します。来館者は会場を自由に移動しながら竹の音を探することができます。



中2階フロア 《Sound Garden》

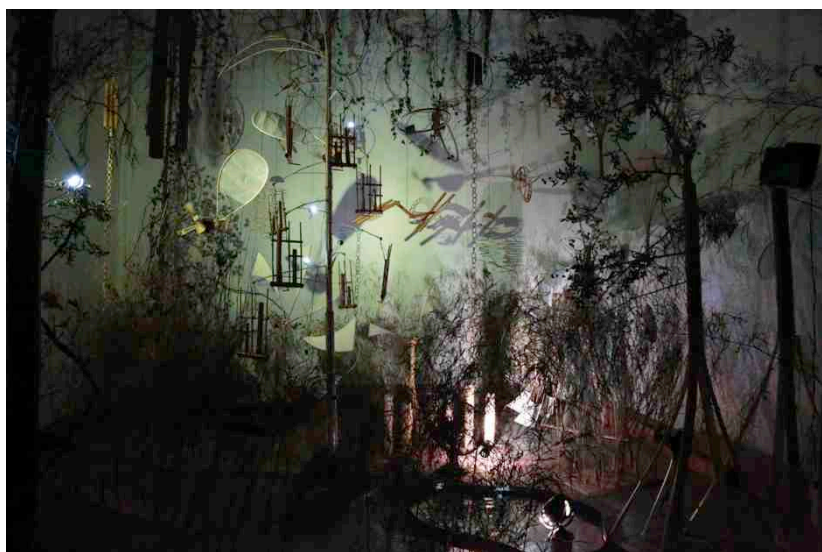
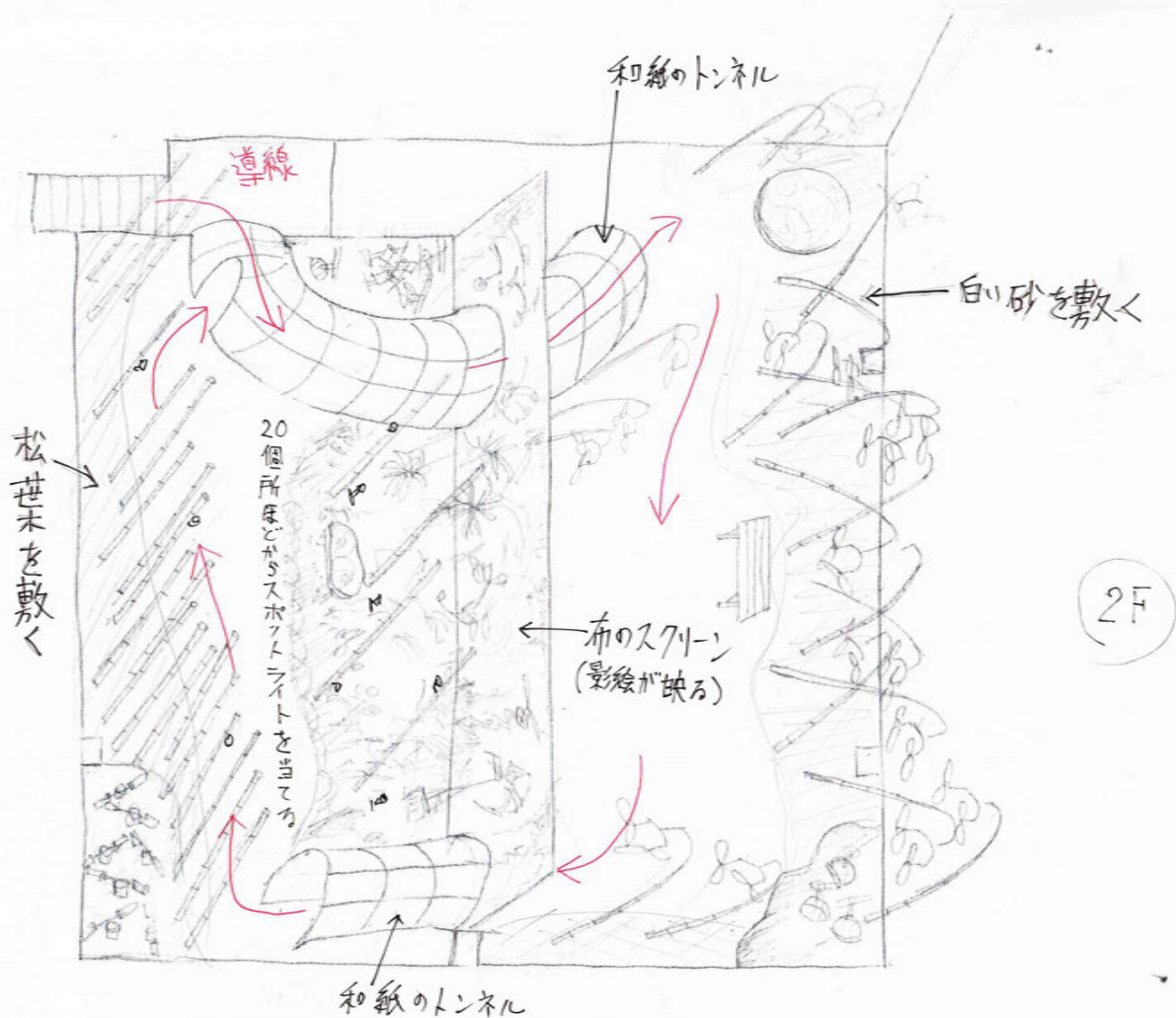
白い砂の上に設置されたパンフルートやパイプオルガン、ケーン、風笛、笙など5種類の自動演奏の管楽器が、音の組み合わせを変えながら演奏します。



《風の演奏会》2013年 ストライプハウスギャラリー（東京）

2階フロア 《Sound Theater》

和紙のトンネルを通して会場に入ると巨大スクリーンにサウンド・オブジェの影絵が映し出され、映像は時間とともに変化します。会場の様々な場所からサウンド・オブジェの音が鳴り響き、奥のトンネルをくぐると影絵の仕組みが解る展示になっています。影絵と竹の自動演奏による一期一会の音と映像の世界を体感できます。



撮影: 佐々木敏晴